

ユニフォームから始める資源革命

-埼玉県から発信する「Zero Waste」への挑戦-



WAONAS

衣料品の資源循環プロジェクト
-ワヨナス-

ニッケ（日本毛織株式会社）
衣料繊維事業本部
マーケティング部 馬場 武一郎
ユニフォーム部 上野 泰正

2030年「繊維資源循環」の社会実装に向けて

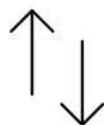
【国の指針（経済産業省・環境省）】
繊維製品の資源循環システム検討会

【ニッケの挑戦：WAONAS】
制服から広げる「Zero Waste」

①回収の拡大（消費者の協力）



②分別の高度化（再生技術）



③環境配慮設計（リサイクル前提）



④販売・情報開示（トレーサビリティ）



共通の
課題解決へ



①出前授業・環境教育



②高度な再資源化（繊維to繊維）

NEDO事業



③循環型素材の提供



④制服回収システム



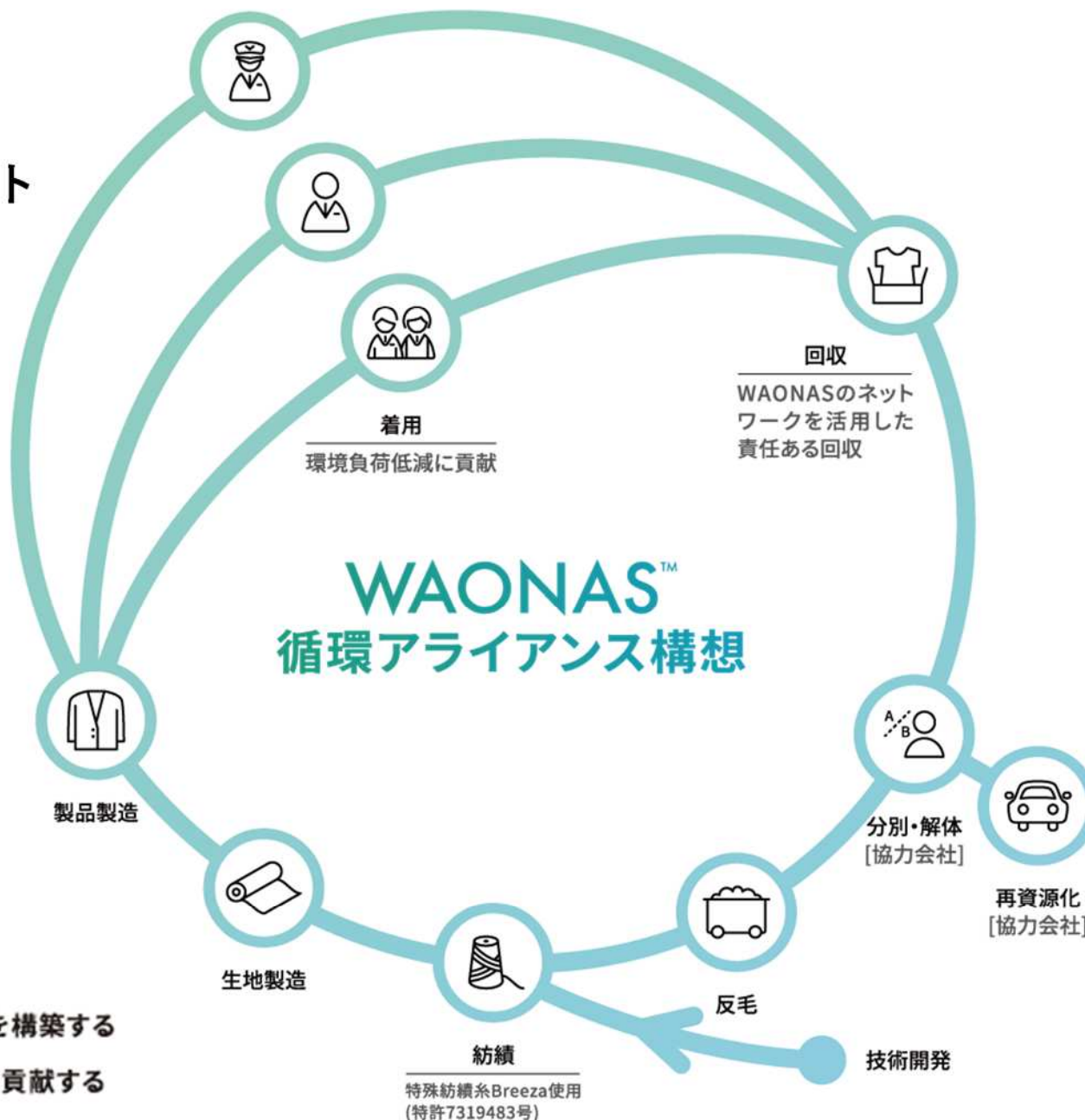
2030年の方針

制服での成功モデル構築

WAONAS (ワオナス)

衣料品の回収・循環プロジェクト

2024年10月から運用スタート。
2030年までに10万着の販売目標。



- 和** 人々が協力し、持続可能な社会を実現する
- 輪** 回収循環・生産供給のためのパートナーシップを構築する
- 環** 廃棄衣料を減らす活動を通して地球環境保全に貢献する

1

【私立】 駒場学園高等学校

2

【公立】 東京都大田区立大森第六中学校

3

【地域】 埼玉県立新座総合技術高等学校 × スクールベン

4

【企業】 京成グループ

【私立】駒場学園高等学校：全国初「循環型制服」の実証事業

- ・ 私立・駒場学園高等学校と提携し「服から服へ」の実証実験をスタート
- ・ 卒業生から制服を寄贈いただき、解体・反毛・紡績を行い新入学生の制服素材にリサイクル
- ・ 1年生と2年生は循環素材の制服を着用、2027年度には循環素材から循環素材への検証が始まる
- ・ 同校のサーキュレーション委員会生徒と連携してプロジェクトを推進中

卒業生



新入学生



生地を構成する糸の一部に
再生原料を使用



【私立】駒場学園高等学校：全国初「循環型制服」の実証事業

環境省主催イベントにて、駒場学園高等学校と連携した循環型制服の取組が紹介されました。衣類のリユース・アップサイクルを通じた循環型社会への挑戦として注目され、当日の様子は、3月7日以降、YouTubeでも紹介予定です。

捨てない! 変える!

江戸東京 衣の循環の知恵

みんなをはじめよう!
服のセカンドライフ



TOKYO METROPOLITAN GOVERNMENT

衣類は年間約50万トンも廃棄され、燃やされています。衣類の大量廃棄は、温暖化の加速、資源の無駄遣いにつながります。そのような環境問題の深刻さについて、トークショーやワークショップ、企業との取組を通して知っていただき、「捨てる」ではなく「衣の循環」へご自身でもできる一歩を踏みましょう!

1.24 (土) 玉川高島屋S.C. 本館1F
展示のみ
1.25 (日) 東急田園都市線 / 東急大井町線「二子玉川駅」下車
西口 (国道246号方面) 徒歩2分
展示・トークショー・ワークショップ

※25日はお昼の撮影が入ります。お申し込み可能枠がございますので、ご確認ください。

アップサイクル作品展示

24日・25日 衣類に施す縫製修理に取り組み、企業の様々なアップサイクル作品を展示しています。



リカちゃんのアップサイクルアトリエ

リカちゃんといっしょに、「つくること」を楽しみながらアップサイクルを体験。廃棄予定の素材から生まれる、サステナブルでやさしいものづくりのワークショップです。

体験時間 30分
定員 12名

リカちゃんとファッションデザイナー体験

25日
11:00 ~
(事前予約)
15:30 ~
(当日抽選)

リカちゃんのスカートをつくろう

25日
13:00 ~ (事前予約)

トークショー

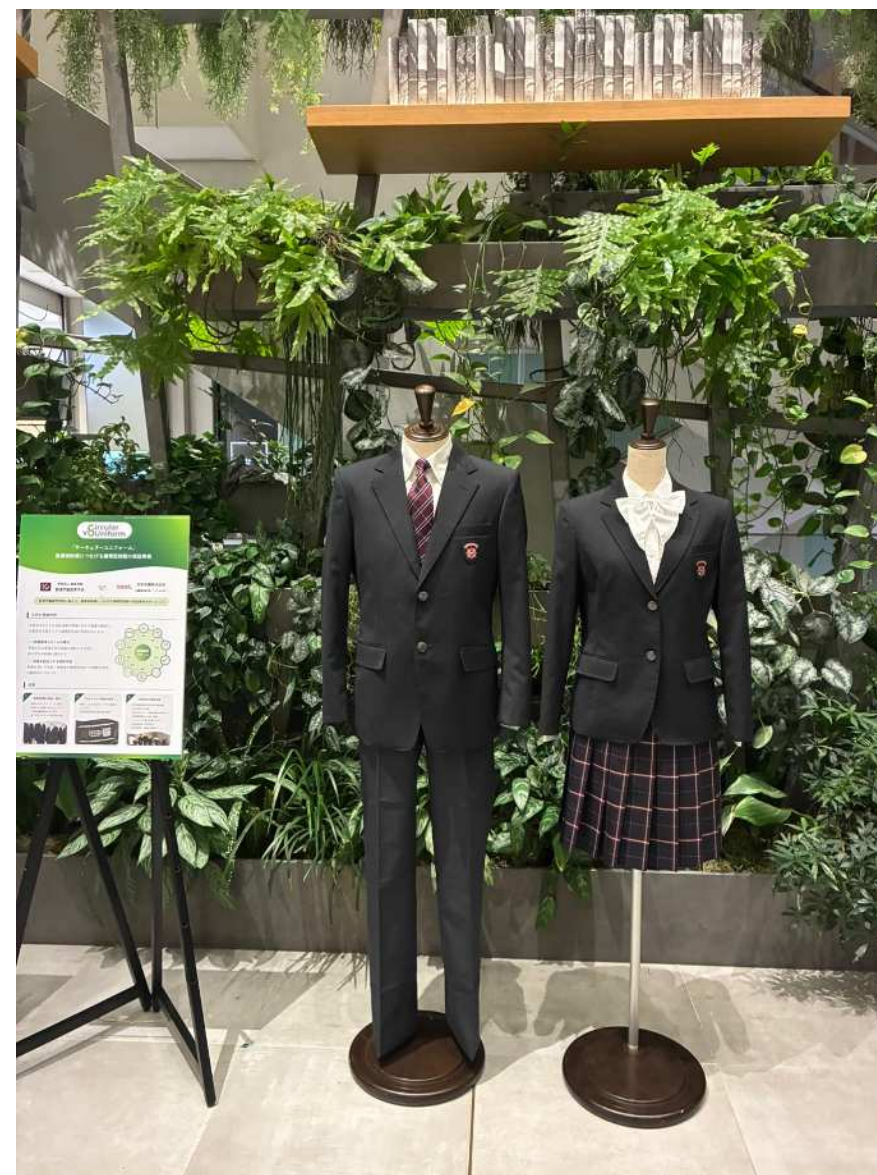
25日 14:00 ~

京都工芸繊維大学 木村雅夫教授とゲストトラウデン直美さんによるトークショー。日本の抱える衣類の廃棄問題などについて分かりやすくお話しします。

トラウデン直美
女優・モデル。2013年「ファッション・オブ・ザ・イヤー」を受賞。13歳でモデルデビュー。映画・CM・雑誌などで活躍。近年はファッションデザイナーとしても活動中。

木村 雅夫教授
京都工芸繊維大学 教授。繊維工学の分野で、繊維の再利用、繊維の再利用、繊維の再利用などについて研究。近年は繊維の再利用、繊維の再利用、繊維の再利用などについて研究。





【公立】東京都大田区立大森第六中学校：ユネスコスクールでの導入

2026
START

2026年4月より
着用開始

大田区立 大森第六中学校の 制服がリニューアルします！

制服のシルエットを改良し、新たなアイテム「ネクタイ・エンブレム」を採用。
環境に配慮した循環型素材を用いることで、制服そのものが学びの一つとなります。



concept

「地球にも、子どもたちにもやさしい制服を。」

大森第六中学校 × Y&Uniform

ユネスコスクールの理念に寄り添い、環境に配慮した素材を使用。
子どもたちが安心して着られることはもちろん、地球の未来にもつながる制服です。

人・環境に優しい「学びにつながる」

Circular
Y&Uniform

※サーキュラーユニフォーム＝使用済みの制服や廃棄予定の生地を回収してリサイクルし、再び制服として生まれ変わるという仕組み。



環境にやさしい制服

廃棄予定の制服や生地を再利用した循環原料を一部使用し、持続可能な社会づくりに貢献

これから目指したい姿

「履から履へ」替わらせる流れを新たに構築し、さらなる環境負荷低減を実現します。
現在廃棄されている衣料品を回収・処理するルートを増やし、より多くの衣料品を衣料品や産業資材へ高資源化する体制を整え廃棄ゼロを目指します。



若る人にやさしい制服

生徒の快適さと保護者の安心を両立

01 ストレッチ&軽量で快適な着心地

02 家庭洗濯で日々のお手入れラクチン

03 撥水・帯電機能で汚れが付きにくく清潔感をキープ

学びにつながる制服

身近な制服素材を起点にSDGsを自分事として考えるきっかけとなり「着る」とことと社会、世界とのつながりを学ぶことができます。



大森第六中生 オリジナルの 新アイテム

Tie -ネクタイ-

シックで落ち着いたグレーをベースに、ライトブルーのラインが入った爽やかな印象のネクタイです。



オリジナル
マーク付き



Emblem -エンブレム-

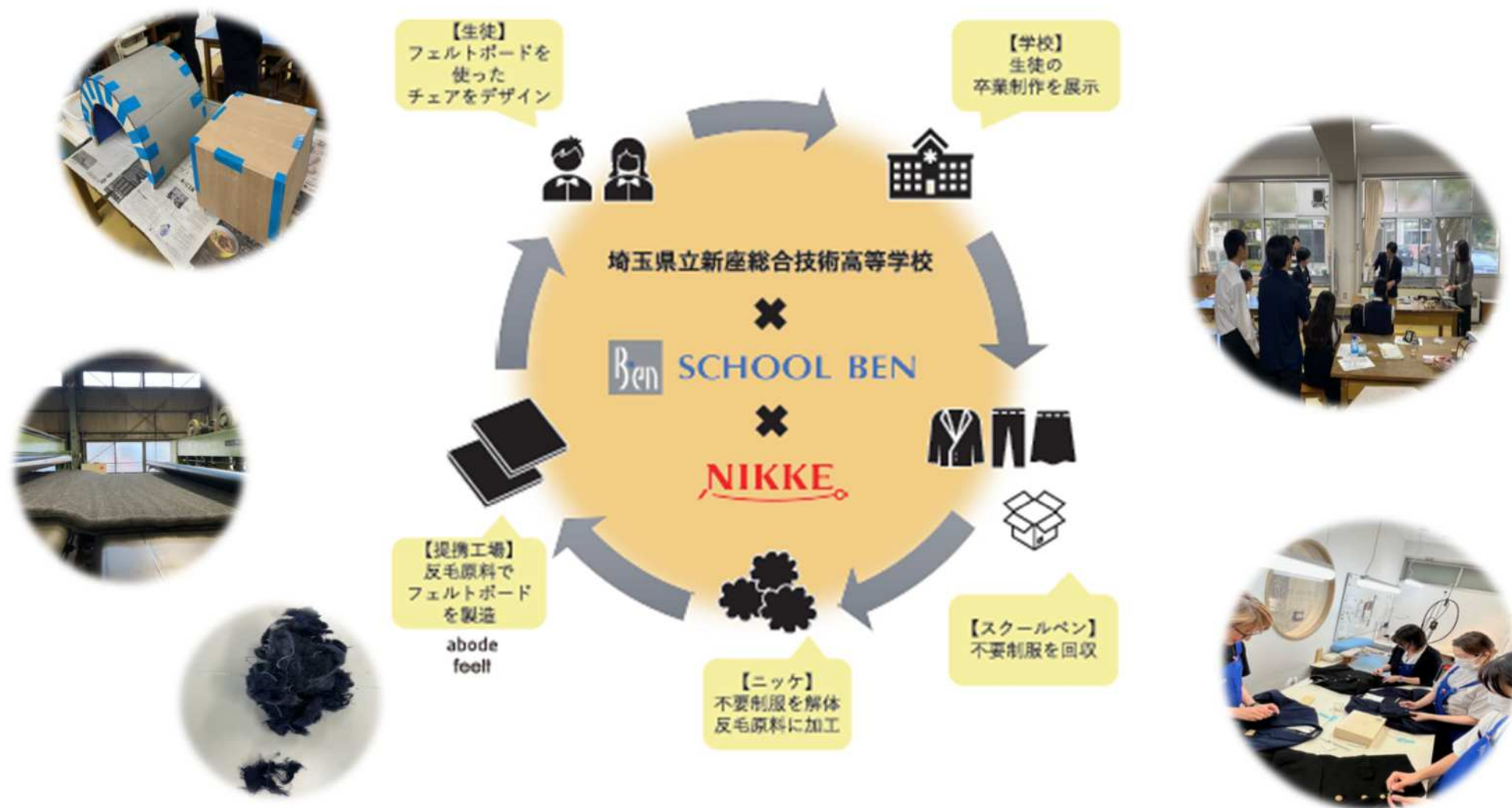
学校名と校章を入れた、オリジナルのデザイン。
学校周辺の自然や環境配慮制服を月桂樹で表現しました。



令和7年度「埼玉県サーキュラーエコノミー事業化支援補助金」採択事業

UPCYCLE for School

廃棄予定だった学校制服をアップサイクル。
そのフェルトボードで仕立てたチェアです。



新座総合技術高等学校の制服販売店「スクールベン」と制服素材メーカー「ニッケ」がタッグを組み、
サーキュラーエコノミーの社会実装化を目指して取り組む共同事業です。

京成電鉄は2025年4月に合併した新京成電鉄株式会社の使用済み制服・作業服約4tを抛出、ニッケが「WAONAS」で再資源化し、幅広い用途に活用します。
また、本年のグループバス事業再編完了後に、リニューアルを予定しているバス事業4社（※）の制服に「WAONAS」で再資源化された原料を一部活用します。

（※）バス事業4社：京成バス東京(株)、京成バス千葉ウエスト(株)、京成バス千葉セントラル(株)、京成バス千葉イースト(株)



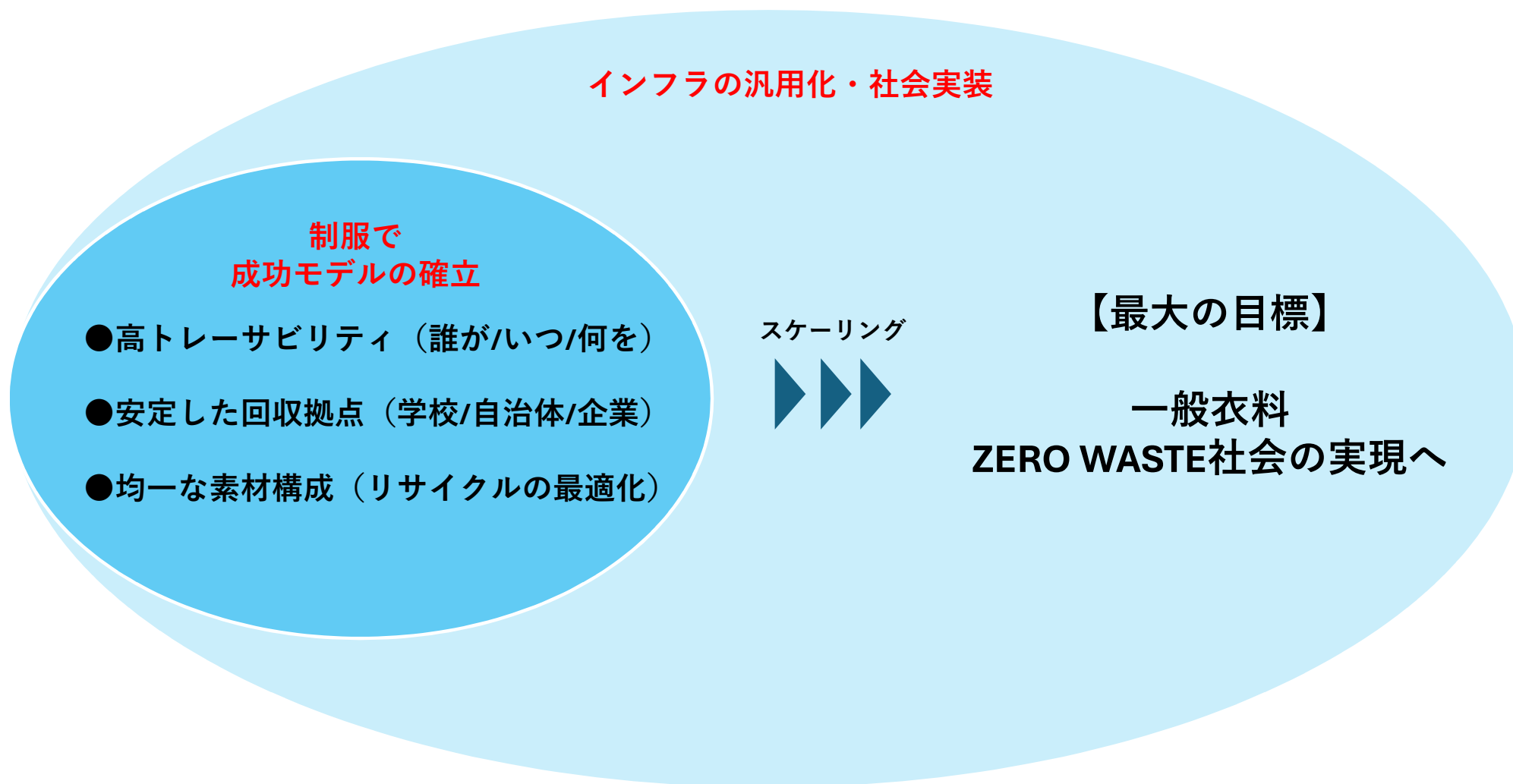
HOME > お知らせ・ニュースリリース > <<京成電鉄・日本毛織>>ニッケが推進する循環プロジェクト「WAONAS（ワヲナス）」に参加し衣料品の再資源化に取り組みます

<<京成電鉄・日本毛織>> ニッケが推進する循環プロジェクト「WAONAS（ワヲナス）」に参加し 衣料品の再資源化に取り組みます

NEW 2026.02.02

京成電鉄株式会社（代表取締役社長：天野 貴夫、以下「京成電鉄」）及びそのグループ（以下「京成グループ」）は、日本毛織株式会社（代表取締役社長：長岡 豊、以下「ニッケ」）が推進するウール衣料品回収・循環プロジェクト「WAONAS（ワヲナス）」に参加し、連携して廃棄予定の使用済み制服を再資源化することで、脱炭素・循環型社会の実現に向け取り組みます。

詳細は、ニュースリリース資料（PDF）をご参照ください。



制服は、言わば『繊維循環の最速・最短ルート』です。一般の服では難しいトレーサビリティも、制服なら把握できます。ここで培った『回収の仕組み』や『再生技術』を、一般衣料という巨大な市場へ展開していく。それがニッケの描く、2030年以降のグランドデザインです。

【自治体・教育関係者の皆様】

- ・ 環境教育（出前授業）の実施、導入モデル校の募集

【回収・選別・解体・物流を担う企業の皆様】

- ・ 高度な分別・処理工程を共に構築できるパートナー募集

【アップサイクル商材開発企業の皆様】

- ・ 反毛原料を活用した、新たなアップサイクル商材の
共同開発パートナー募集